

東京 2020 パラリンピック競技大会

ゴールボール

りょうが 山口凌河選手

初出場決定！

山王小学校出身。幼少時代から野球に打ち込み、藤代中学校在学時には野球部のキャプテンとして活躍。2年次に目の難病「レーベル病」を発病。2.0あった視力を失い、わずかに人影や光を認識できる程度になる。その後進学した県立盲学校でゴールボールと出会い、平成25年世界ユース選手権大会金メダル、30年・令和元年日本ゴールボール選手権大会準優勝。

1 山口選手から市民の皆さんへのメッセージ

—目指すは金メダル！大会に向けての抱負

私にとって、パラリンピックは夢の舞台。不安よりも、期待とワクワクする気持ちの方が大きいです。ゴールボール男子チームは今回パラリンピック初出場。金メダルを取り、表彰台の一番高いところに上がって取手に帰ってきたいです。

—野球経験を生かしたコントロールが強み、得点を挙げてチームに貢献

正確なコントロールと勢いのある強いボールで、得点を挙げてチームに貢献します。同じチームの仲間とは、時にぶつかり合い、時に励まし合いながらお互いを刺激して、チーム力を高めています。

—夢の舞台で皆さんの応援を胸に戦います！

少年野球や学校生活などを通じて、地域の皆さんに自分の存在を知ってもらっているのは、大変ありがたいです。責任と覚悟を持って、取手市の皆さんの応援を胸に全身全霊でプレーします！

■ 静寂の中で生まれる熱い攻防、ゴールボールとは



関彰商事株式会社提供

- ・1チーム3人の視覚に障害がある選手で対戦。障害の程度に差が出ないように、全員がアイシェード（目隠し）を着ける。
 - ・鈴の入ったボールを転がすように投げ合い、ゴールに入った得点を競う。
 - ・ボールはバスケットボールとほぼ同じ大きさだが、重さは約2倍（1.25kg）。
- ※無言の応援で見守るのがマナー

2 ゴールボール競技実施概要

期間 8月25日（水）～9月3日（金）

会場 幕張メッセ（千葉市）※新型コロナウイルス感染症拡大の影響で観客の有無は未定（8月10日時点）



山口選手のプロフィールやゴールボール競技実施概要など、市ホームページで紹介しています！

3 声援を力に！応援幕を市内に設置

山口選手を応援するため、市内の下記施設に懸垂幕や横断幕を設置しました。



【応援幕設置場所】

懸垂幕：取手庁舎
横断幕：藤代庁舎、JR取手・藤代駅
取手グリーンスポーツセンター
藤代スポーツセンター

■ 地元の友人から山口選手への応援メッセージ！



野口勇太さん

私と凌河さんは、保育園で知り合い20年以上の友人。小学生の時は少年野球チーム、中学生の時は野球部に入部し、毎日一緒に野球に励みました。持ち前の負けん気と勝負強さで優勝し、報告に来てくれることを楽しみにしています！